

クロサギ

Egretta sacra (Gmelin)

コウノトリ目サギ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

個体数が少ないうえ、繁殖地が限られており、脆弱である。

形態

全長58～66cm。雌雄同色。全身がすすけた濃い灰色で、喉は黒いものと小さな白い部分あるものがある。嘴は黄褐色だが黒っぽい個体もある。夏羽では目立たない短い冠羽がある。足は黄緑色で指の裏は特に黄色い。亜熱帯から熱帯のサンゴ礁の海岸には全体が白い白色型がいる。

国内分布

本州以南に分布。太平洋側では房総半島以西、日本海側では男鹿半島以南で局地的に繁殖している。

県内分布

繁殖期以外は能登から加賀の海岸に広く分布するが個体数は少ない。確実な繁殖記録は能登だけである。

生態

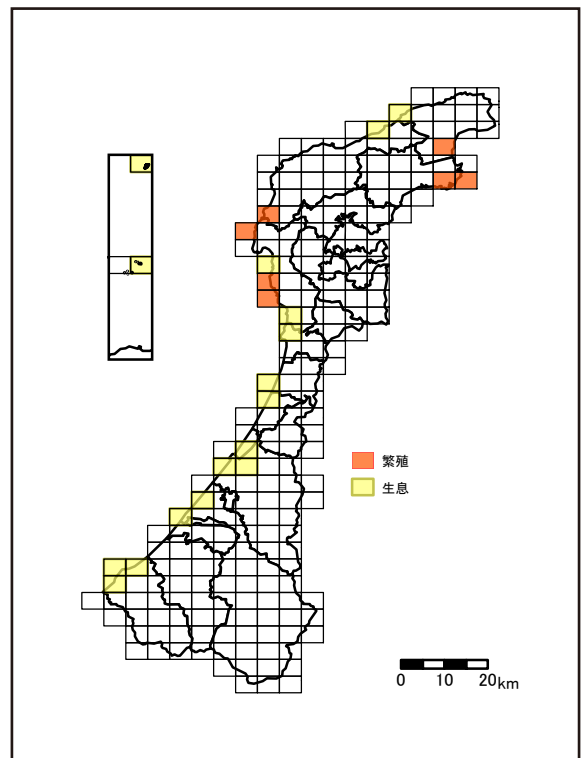
岩礁海岸に生息。磯の波打ち際で魚を待ち伏せする。繁殖期は5～6月で、断崖の岩の隙間に小枝を運び込んで巣を作る。時には低木の枝の上に営巣することもある。非繁殖期には岩礁を離れて干潟や河口で観察されることもある。

生息地の条件

餌が豊富な岩礁海岸で、人の影響が少ない場所。

生存の危機

営巣地周辺での人間活動。特に釣り人の影響は大きい。(A)



県内の分布